令和3年度　社会福祉法人　ポプラ福祉会　ポプラこども園自己評価集計表

園長・副園長・主幹教諭対象

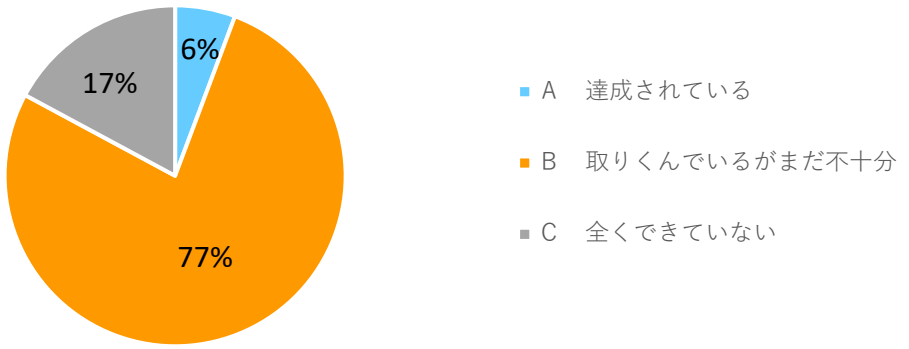
こども園における自己評価の結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

＜評価について＞
評価をするにあたっては、以下のような基準で評価を行っています。

A…達成されている　B…取りくんでいるがまだ不十分　C…全くできていない

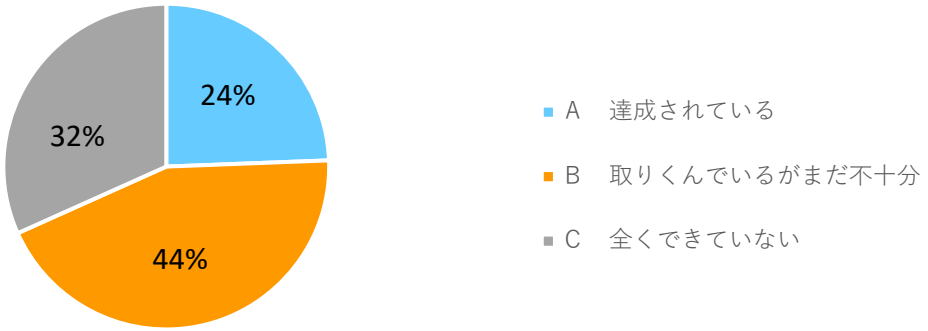
１．人間関係

1）ゆとりをもって出勤できるよう指導することができる。
2）後輩への言葉遣いや礼儀についての指導注意ができる。
3）スタッフの能力適性を理解し業務を計画的に遂行できる。
4）職員の健康管理に配慮し業務に支障をきたさないよう指導できる。
5）後輩のよりよき相談相手になり職員関係を良好に保つことができる。
6）後輩部下の業務遂行に対して相手の立場を理解してよい指導援助ができる。
7）後輩に対してやる気を起こさせる助言指導ができる。
8）同僚や関係者に対する感謝やねぎらいの言葉がけができる。
9）計画スタッフに理解され、実行意欲を持たせている。
１０）スタッフの能力、適性を理解し、計画的に行っている。
１１）人間成長を考え、よい信頼関係が確立されている。
１２）スタッフが啓発意欲を起こすよう努めている。



２．指導力

１）後輩からの相談を的確に把握し園長・主幹教諭へ報告できる。
２）職場の指揮系統を認識し全体の規律保持に努めている。
３）自ら課題を模索し、課題解決に努めた。
４）業務が円滑に進行するよう企画立案実行できる。
５）緊急時における職員ローテーションを調整することができる。
６）自らが規範となり守秘義務を遂行するよう指導できる。
７）計画的かつ正確に業務を成し遂げ他の職員をリードしている。
８）問題発生時に速やかに上司に相談し的確に対応できる。

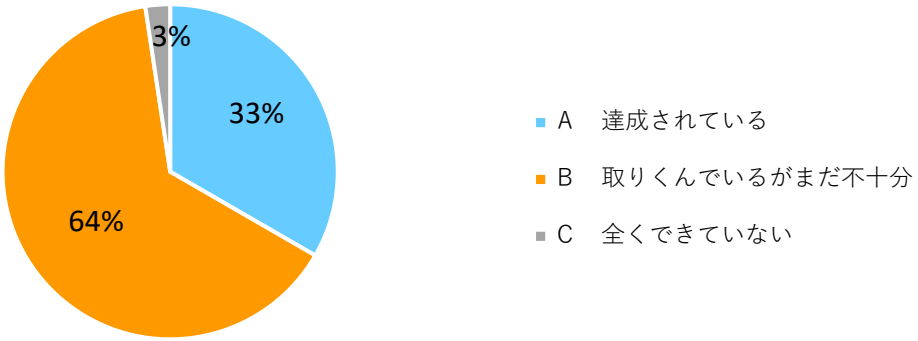


３．理念方針

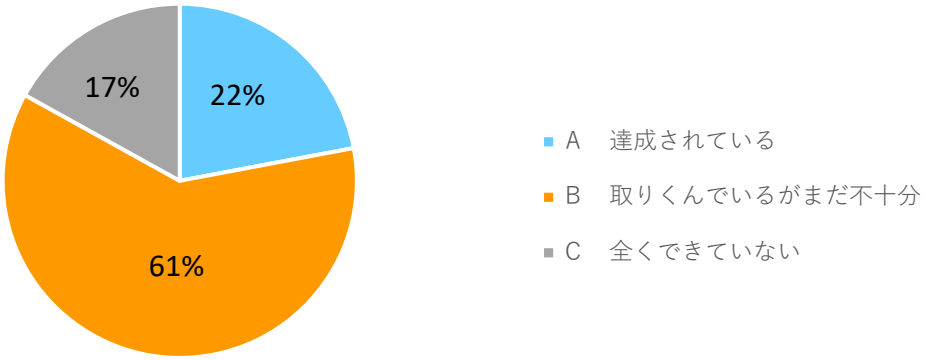
１）服務規律を厳守できる。
２）自己の立場を認識し、他の職員によい影響を与え、規範となっている。
３）自己の職責をわきまえ、職務を完遂した。
４）共通の目標を設定し、確実に実行できる。
５）よい高い水準の仕事、より幅広い仕事の遂行に努力した。
６）逐一指示されなくても行うべき業務を把握し自主的に遂行した。
７）業務改善のため、創意工夫提案の実効性をあげる為努力した。
８）利用者等の人格を尊重する対応ができかつ信頼を得ている。
９）他人に好感をもたれるよう身だしなみ、服装・言葉遣い、態度に配慮した。
１０）公私の別なく地域住民に対し常に笑顔と親切を忘れずにいられた。
１１）電話の対応は園のイメージアップにつながるよう対処できる。
１２）来客への対応は、後輩の手本となるよう明るく笑顔で対応できる。
１３）経営方針・施設方針をよく認識している。
１４）自己の果たすべき使命について明確に自覚している。
１５）園の教育・保育方針に従った後輩への指導ができる。

３．理念方針

１６）明確な目標を持ち目的達成に向けて計画を行っている。
１７）新局面・不測の事態に対する判断力・的確な判断の下に臨機応変の判断を行っている。
１８）情報収集・問題発生・分析収集について抜群の技量を有し、部門計画の策定も十分検討している。
１９）担当専門業務計画の策定・具体化・実現化には全面的に任せて安心である。
２０）私語がもたらす危険性を把握し、後輩への注意ができる。



８．総平均



令和３年度　社会福祉法人　ポプラ福祉会　ポプラこども園自己評価集計表

保育士・看護師・支援員対象

こども園における自己評価の結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

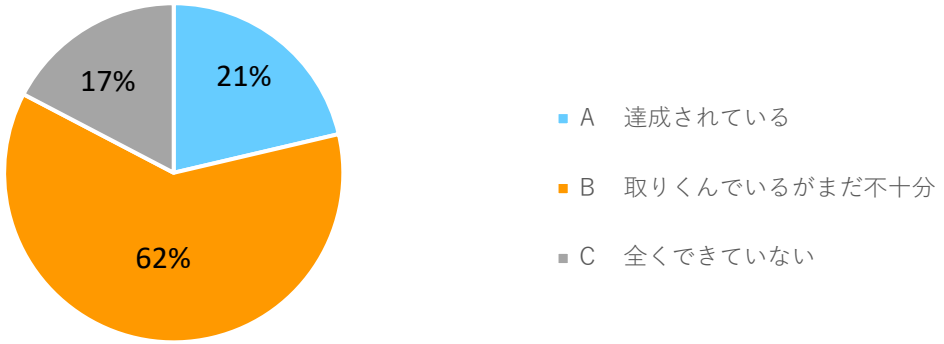
＜評価について＞
評価をするにあたっては、以下のような基準で評価を行っています。

A…達成されている　B…取りくんでいるがまだ不十分　C…全くできていない

１．認定こども園の理解

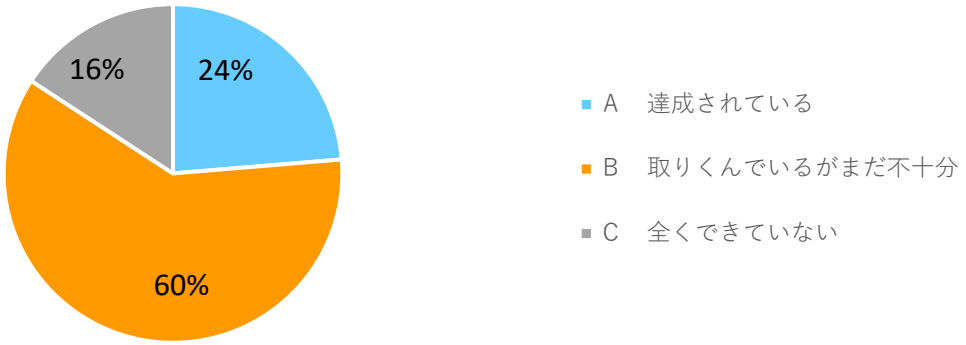
１）認定こども園についての法令を知っているか。

２）保育園と認定こども園の違いを理解し、保護者・来園者に分かりやすく説明することができるか。



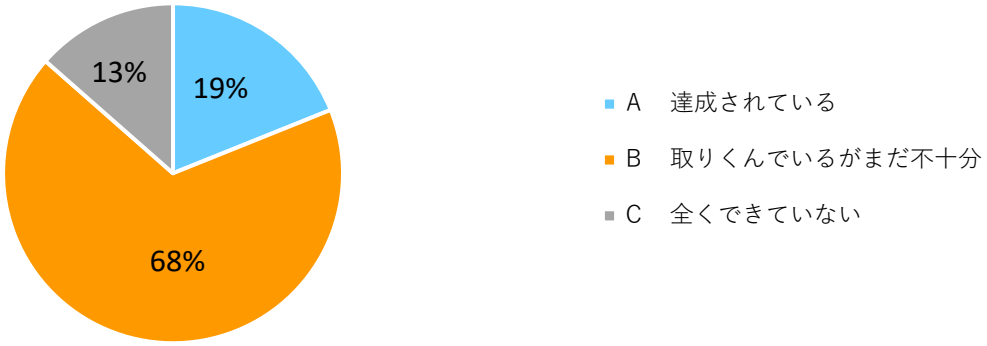
２．保育理念・保育教育目標の理解と説明

１）本園の理念・目標を理解し、保護者・来園者等に分かりやすく説明できるか。



3．認定こども園教育・保育要領についての理解

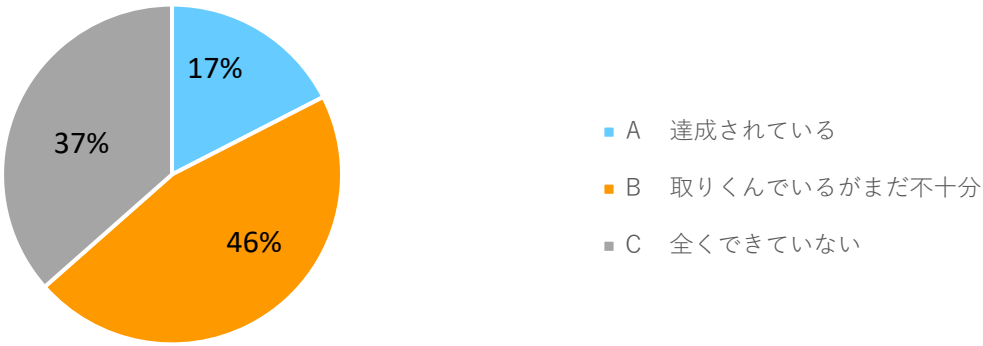
1）教育・保育を展開するにあたり園児の発達の連続性を考慮し、園児一人ひとりの状況に応じた教育・保育過程を展開しているか。



4．療育支援の理解と取り組み（該当者のみ）

1）特別な支援の必要な子どもへの個別支援計画を作成し、発達支援をしているか。

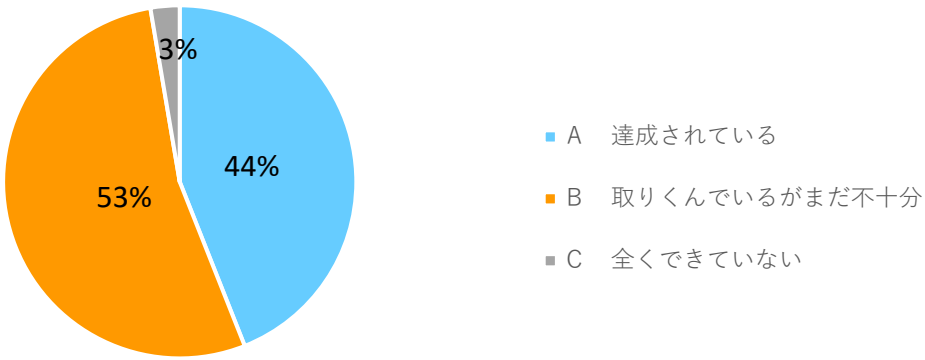
2）臨床発達心理士、関係機関と連携し保育に取り組むとともに保護者の気持ちを受け止め寄り添っているか。



5．保健・安全管理について

1）学校保健法を把握し園児の健康についての狙い・内容を理解しているか。

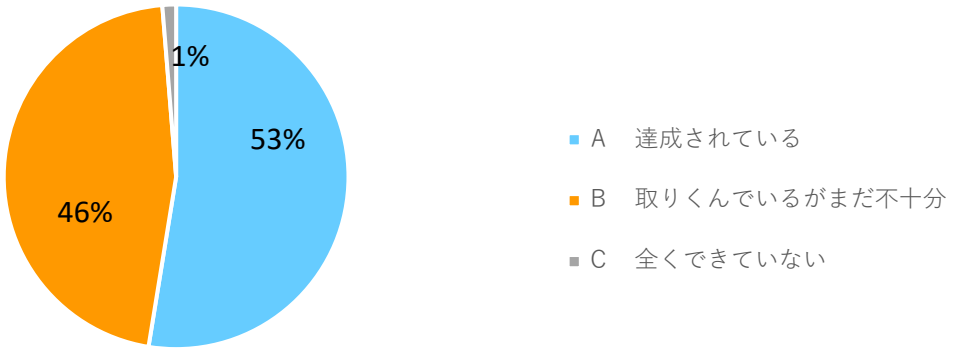
2）事故予防・救急処置・火災・地震・不審者侵入等に臨機応変に対応できるか。



6．職員間の連携について

1）担任外保育教諭間の連携、多職種職員との連携ができているか。

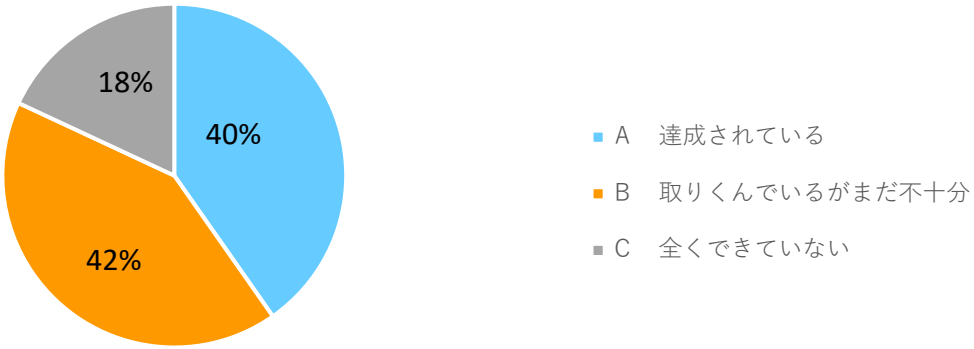
2）各クラス間、」事務所への報告・連絡・相談（報連相）ができているか。



7．研修について

1）園で定めた園内外の研修に意欲的に参加し園の保育に還元しているか。

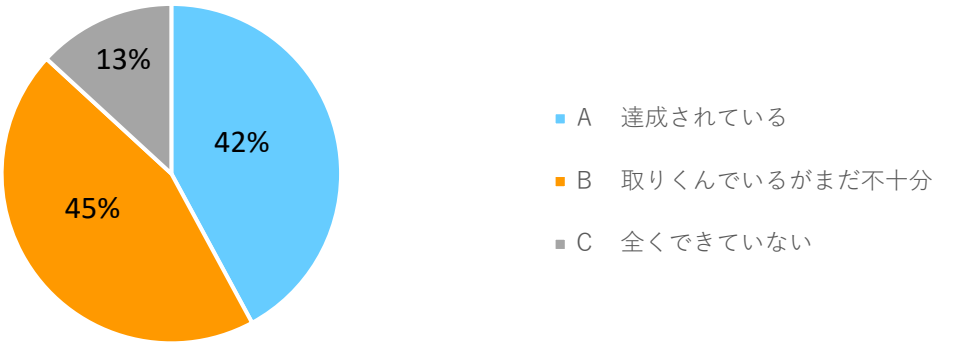
2）自己が成長するために進んで自主研修に参加しているか。



8．保護者との連携について

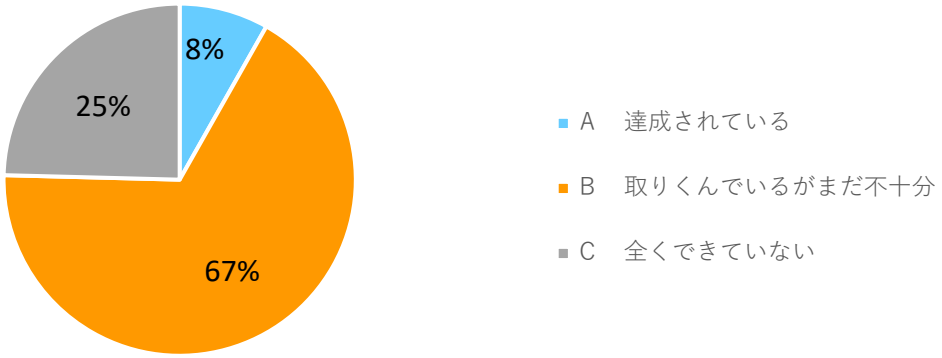
1）連絡帳のみに頼らず、登降園時のわずかな時間でもコミュニケーションを取る努力をしているか。

2）懇親会や保護者面談を通して保護者の子育て感を聞き取り、連携して子育てにあたっているか。



9. 地域子育て支援について

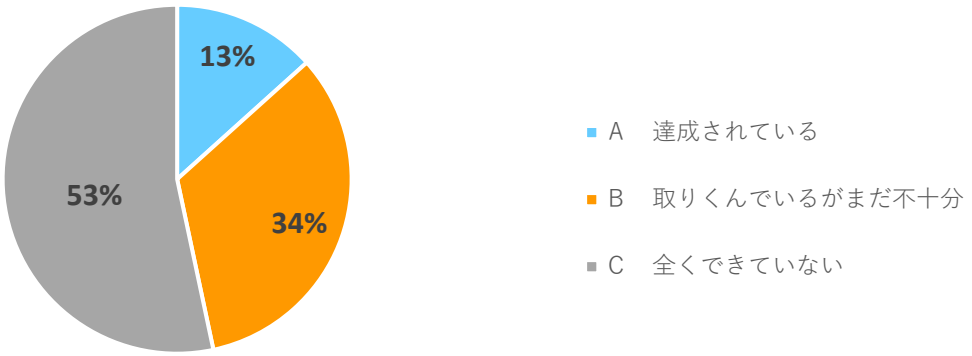
1）地域との交流に意義を感じ積極的に取り組んでいるか。



10. 小学校との連携について（5歳児担任のみ）

1）小学校との接続について教育課程に盛り込まれているか。

2）円滑な接続のために小学校の授業参観、懇親会・交流・職員の研修、園訪問を実施しているか。

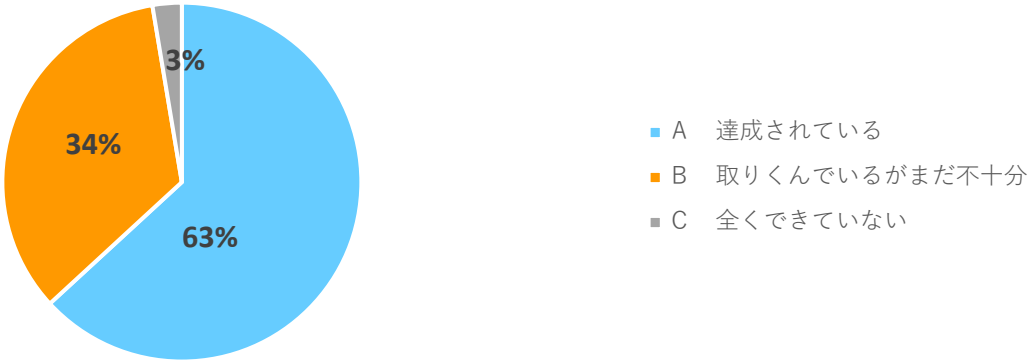


11. 勤務態度について

1）全体の奉仕者として自覚を持ち服務規律などのルールを遵守する中において自らの職責を果たしながら、誰に対しても礼儀正しく、また時間を大切にしている。また時間を大切にしている。また上司の方針に従うことができる。

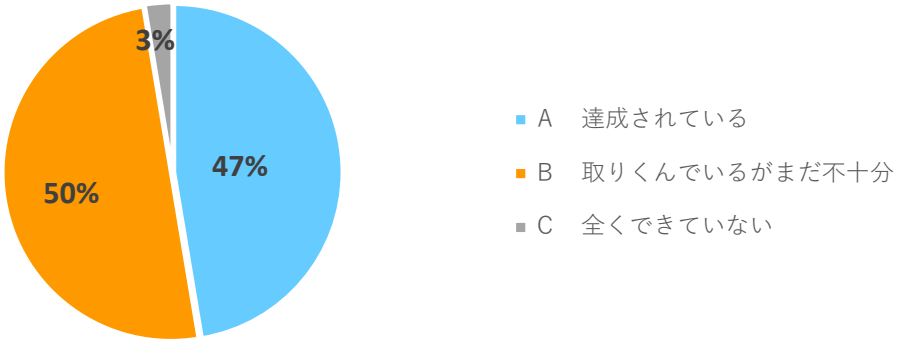
11. 勤務意欲について

1）担当職務並びにクラスに対して常に問題意識を持ち、新たな課題と困難なテーマに常に取り組み自己の能力を高める努力をしたか。（職務に対し、常に問題意識を持って前向きに取り組んだか。指示を待つことなく主体的、自発的に行動できたか。）



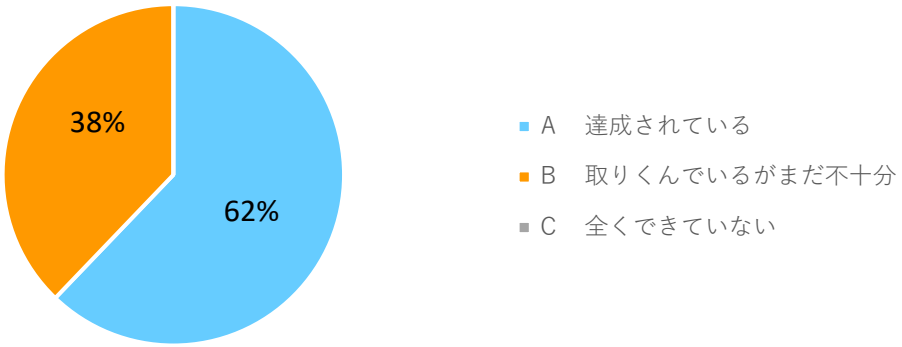
12. 責任感について

1）自己の職務を良く自覚して、担当職務に対しては最後まで完遂する意欲を持ち、他者に責任を転嫁することはなかったか。（職務を十分自覚し、最後までやり遂げる努力をしたか。判断決定に対して責任を転嫁、回避することはなかったか。



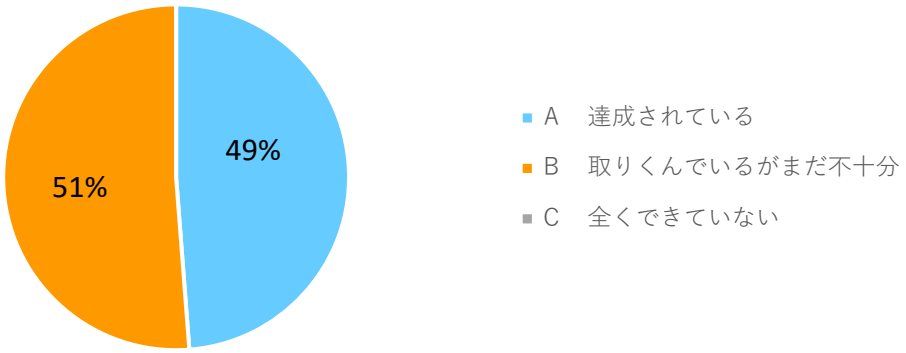
13. 協調性について

1）クラス単位の業務の推進を図るために自己のクラスの課題達成、仕事の執行にとどまらず、他のクラスにも連携を深め、好ましい関係を樹立するよう努めたか。（常にチームワークを意識した行動をとったか。自クラスにとどまらず、他クラスとのコミュニケーションを図っていたか。）



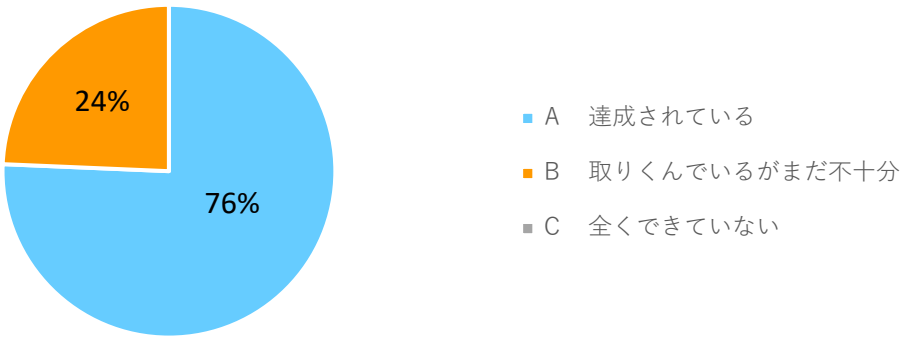
14．あいさつについて

1）あいさつの重要性を深く認識し子どもはもとより、保護者、同僚、来客等に、勤務時間にもかかわらず、積極的に挨拶をすることを周囲に励行し、自己も実現している。



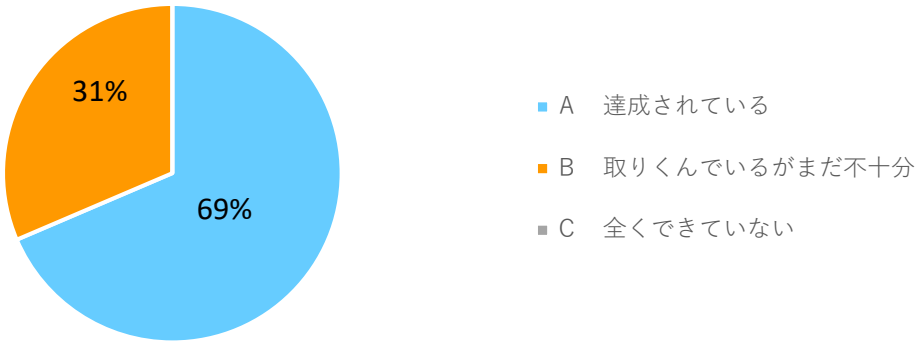
15．身だしなみについて

1）身だしなみとおしゃれの違いを理解し、常日頃から頭髪や服装を整え、人に好印象を与え、保育士らしい保育に差し支えの無いような身だしなみを心掛けている。



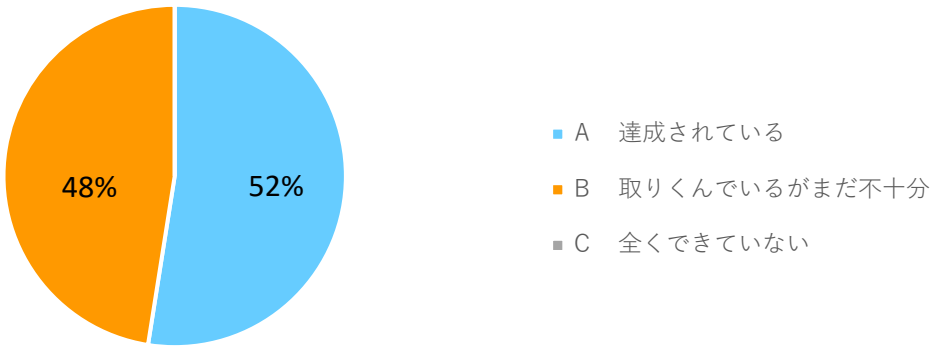
16．言葉遣いについて

1）子どもに対して常に優しい言葉がけを心掛けているか。また、保護者に対し、子どものことや自分の保育のことをわかりやすく正しい言葉遣いで、丁寧に話すようにし、保護者との信頼関係を築いているか。



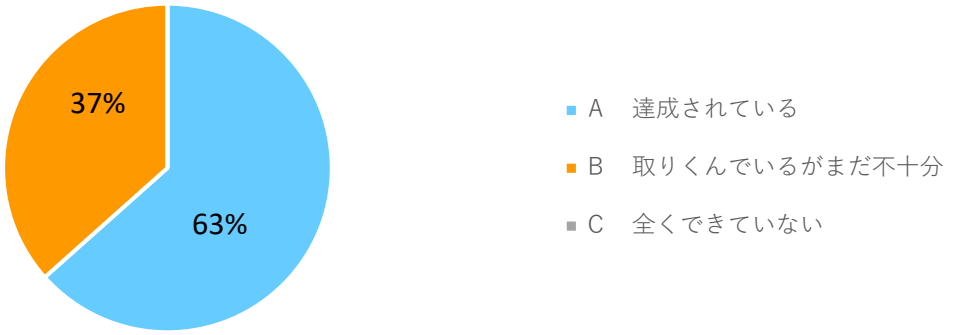
17. 園児への配慮について

1）少なくとも1日1回はクラスのすべての子どもと心の通う会話を心掛けている。
子どもの年齢や発達、個性（障害を含む）、特徴に応じた関わり方をしている。



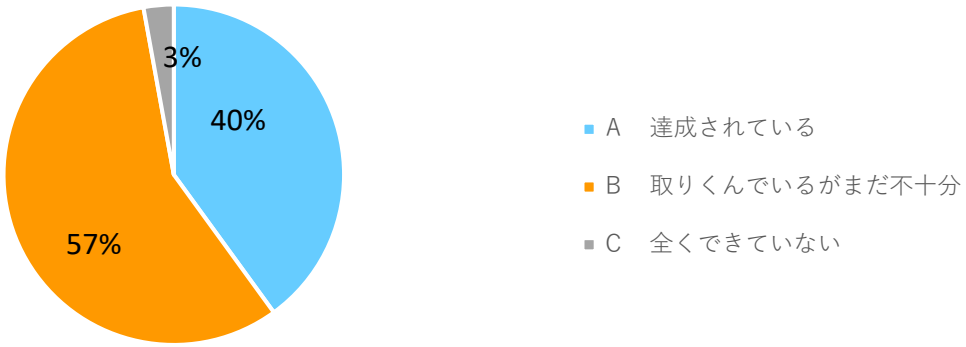
18. 向上心について

1）物事をプラス思考で捉え、失敗があった時も前向きに切り替えながら自分の職務能力をのばすことや経験を積むための取り組みをしている。



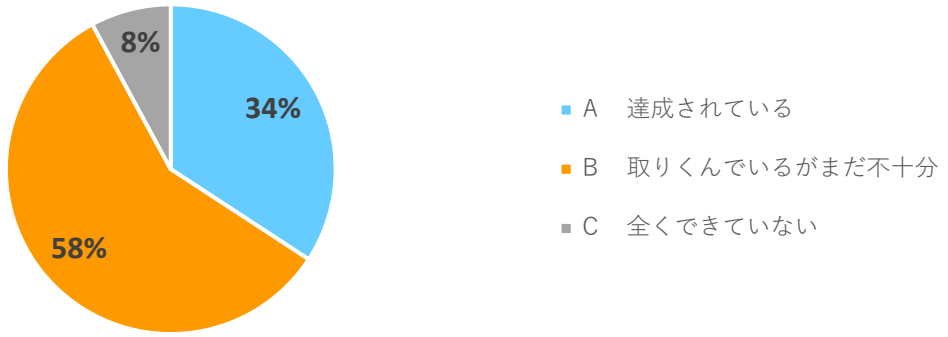
19. 改善心について

1）保育計画や保育の記録を通して、自らの保育実践を振り返り、次の保育に向けてその専門性、保育の質の向上や保育実践の改善に努めている。職員相互の話し合い等に通じて保育の質の向上のための課題を明確にするとともにこども園全体の保育内容に関する意識を深めている。

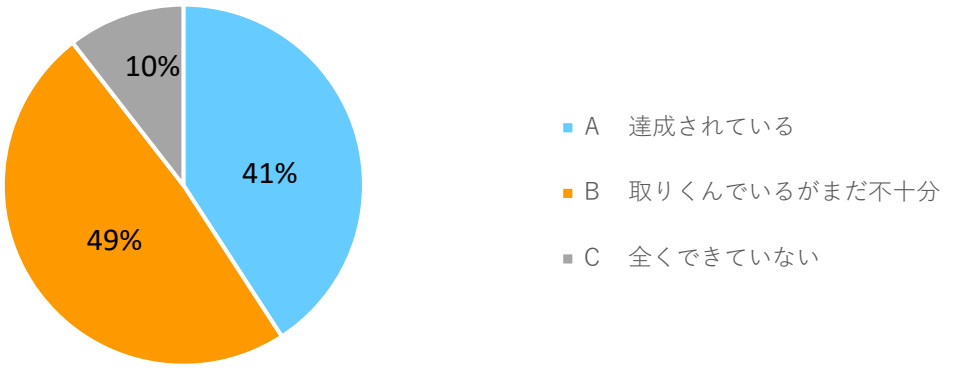


20. 看護師のみ

1）園児の負傷・疾病の場合、迅速かつ適切な手当ができる。
2）保健日誌は毎日記録されているか、又感染症等保護者向けの情報はしっかり発信しているか。
3）園児定期健康診断結果後の保護者への報告やアフターフォローはしっかりできているか。
4）感染症発生や年間集計がきちんとできているか。



21. 総平均



令和3年度　社会福祉法人　ポプラ福祉会　ポプラこども園自己評価集計表

栄養士・調理員対象

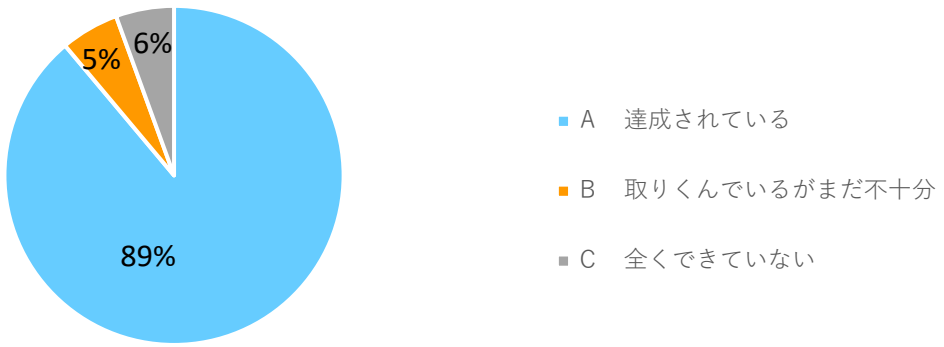
こども園における自己評価の結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

＜評価について＞
評価をするにあたっては、以下のような基準で評価を行っています。

A…達成されている　B…取りくんでいるがまだ不十分　C…全くできていない

1．教育・保育理念

1）子ども一人ひとりの存在とその人の人権を尊重している。
2）就園児の教育・保育だけでなく、広い地域の子育てを支援する社会的役割がある事を常に意識している。

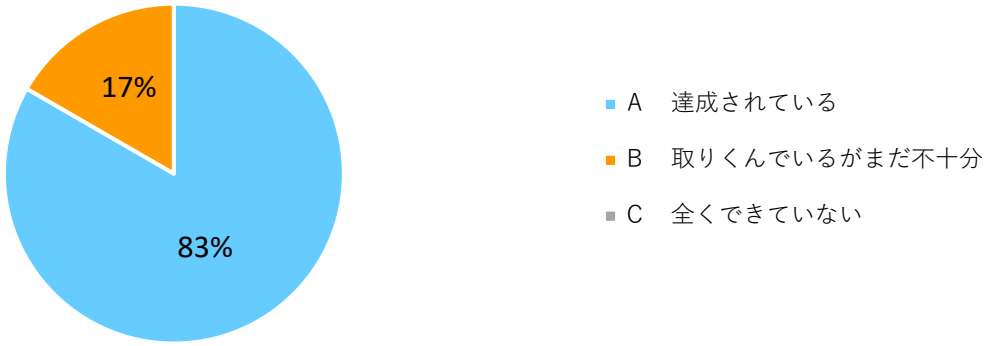


2．教育・保育内容

1）園の教育・保育理念や教育・保育指針を十分に理化し、遂行することができる。
2）給食日誌等提出物を締め切り日までに提出することができる。
3）子どもの状態の変化に応じて的確に食形態を考えることができる。
4）食中毒や衛生管理についての知識を持ち食品の取り扱いについて助言・指導ができる。
5）調理場の洗浄・保管を確実に実行し清潔を保持している。

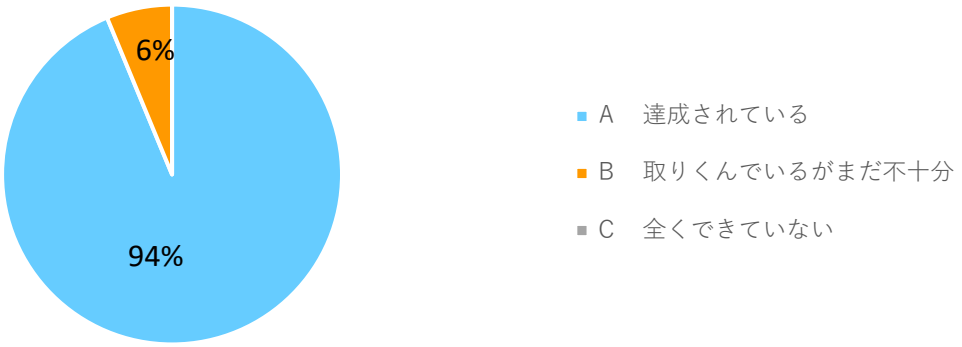
3．人間関係

1）園児や保護者へは笑顔で接し、その時の状況に応じて適切な対応ができる。
2）給食業務を円滑に行うために、職員間の相互の連携を適切に図ることができる。



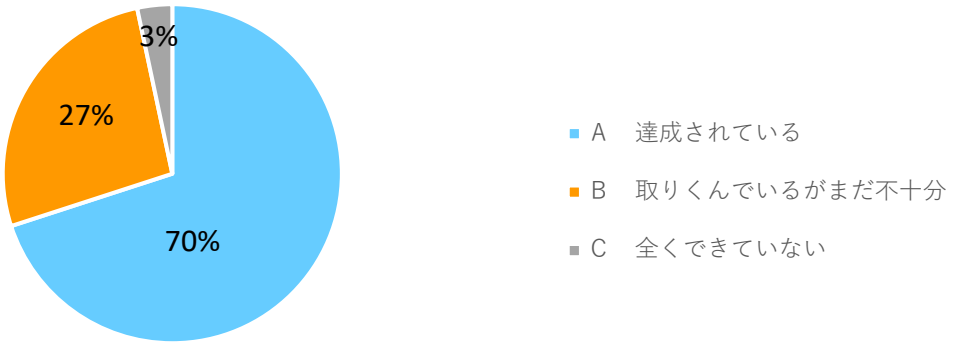
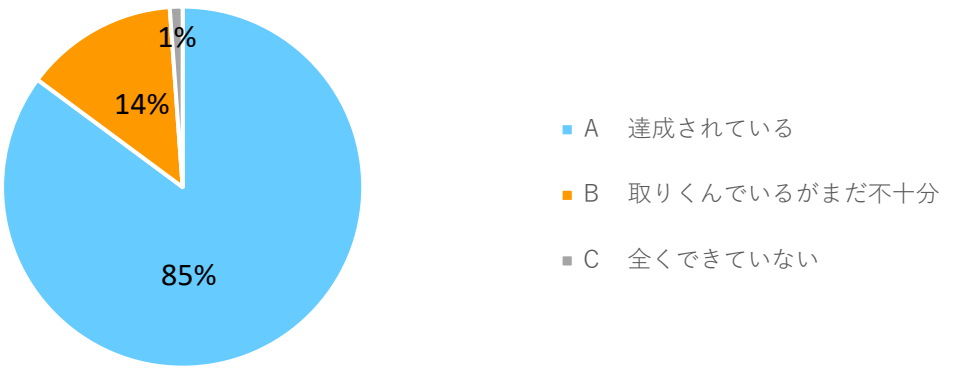
4．健康安全管理

1）災害発生時には、冷静な判断をし、園児の安全を図る為に適切な行動をとることができる。
2）厨房内の安全を点検し不都合が生じた場合には、迅速な報告・対応・処置ができる。
3）施設内外の衛生管理に努め、施設に支障をきたす事態の発生時には迅速な報告・対応
処置ができる。
4）救急処置（アレルギー児）に対して積極的に勉強し、適正な行動を取ることができる。
5）厨房内の換気・保湿・清潔等環境保全に配慮する。
6）自己の健康管理をしっかり行うことができる。



5．その他

1）国が行う特別保育事業に関して、調理員としての自覚を持ち、積極的に取り組むよう努める。
2）子育て支援事業に積極的に取り組むために調理員自らの資質向上に努める。
3）調理員の資質の向上及び自己啓発に努めるための研修会には積極的に参加自己研鑽に努める。
4）地域におけるボランティア活動に興味を持ち、調理員自ら積極的に参加する。
5）来訪者や電話等の外部者に対し、状況に応じた適切な対処や行動をとることができる。



6．総平均